

能登國ノ風俗ハ、別而人之心持狹クシテ、譬バ一足他へ踏出ス時ハ、則渴命ニ及ト思フノ類多シ、因茲我主ツレナクアテガフニモ、誰々モ渴命ツナグベキタメニ奉公ヲ勤ル風儀ニ而、引放タル意地スクナシ、雖然武士一身常之覺悟ハ如形ナリ、サレバ是國ヨリ他へ踏出ル程之器量ノ族有テ他出スル時ハ、必可秀ナリ、不出時ハ國之棟梁ト可成人也、若又他邦セズ、棟梁トモ不成、蟄居スルニ於テハ、自然ト惡意ヲ企ル如クノ風俗アルベシ、偏固ニシテ道理闇ク、而モ驕之氣有之、

名所

〔日本鹿子〕^十同登^〇能^〇國中名所之部

能登の海 のとの海に釣する蟹のいさり火の光にゐさせ月まちがてに

饒石川 錦川 紅葉ちる山下水は染ませの錦川とぞ見え渡りける

岩瀬渡 舟とむる岩瀬の渡りさよ更て深山き川を出る月かけ

宮城山 長濱浦 わが戀は君を宮城の山ならでまつにかひなき長濱の浦

〔能登めぐり〕能登名所

一岩瀬の渡 時國 一羽喰の海 羽喰 一饒石川 劍地村 一香島 熊木郷

一角島 鹿島郡 一高淵山 熊木郷 一熊木の里 同所 一机島 鹿島郡

一長濱浦 三崎 一能登の海 羽喰郡 一能登の島山 鹿島郡 一雲津の里 三崎

郷 一宮崎山 時國村 一鈴の御崎 三崎の事 一鈴の御牧 同所 一珠洲の海

同所 右ハ古歌有

〔延喜式^二兵部^一十八〕諸國健兒^〇略^中 能登國^{五十}人

諸國器仗^〇略^中 能登國^甲征^一領^十具^胡胡^十具^張、

〔能登めぐり〕夫古代は、郡司庄司郷司の名ありて、郷庄を貢物捧て、刀禰宿禰杯も司の名なり、今は那里と稱るまでなり、然といへども、能登の國は傍邊にや専ら郷庄を唱ふ、又刀禰といへる百姓

雜載